



地域に根付いた姉妹都市交流、日本文化普及活動の現状と展望 ～ノースカロライナ州トライアングル地域の事例を通じて～

(一財)自治体国際化協会ニューヨーク事務所 所長補佐 光永 靖彦 (大分市派遣)

姉妹都市交流の意義と文化普及の役割

姉妹都市交流は、単なる都市間の連携に留まらず、地域住民が互いの文化を深く理解し合う場として機能しています。経済、教育、文化といった幅広い分野での交流を通じて、地域に多様な視点をもたらされ、住民の国際感覚が養われるという重要な役割を果たしています。

アメリカ南東部のノースカロライナ州トライアングル地域（州都であるローリー市、ダーラム市、チャペルヒル町などを結ぶ三角の都市圏地域の名称）では、このような交流が盛んに行われており、地域社会における多文化理解が着実に進展しています。本レポートでは、主にダーラム市やローリー市で行われている日米の姉妹都市交流や文化普及活動の取材を通して、その意義や課題、将来の展望について探ります。

富山市とダーラム市の姉妹都市関係

富山市とダーラム市は、医療、教育、産業など多くの分野で共通点があり、相互理解と平和の促進を目的として、1989年に姉妹都市提携しました。この関係を象徴する施設として、デューク大学のサラ・P・デューク・ガーデンズには茶道体験ができる茶室が建設されました。



サラ・P・デューク・ガーデンズに設置された茶室、2007年に完成し、両市の交流の象徴として多くの人に親しまれている

ダーラム姉妹都市協会と35周年記念祝賀会

ダーラム市は、富山市をはじめ、タンザニアのアルーシャ市、メキシコのセラヤ市など、世界9つの都市と姉妹都市関係を築いています。この関係を支える非営利組織「ダーラム姉妹都市協会」は、デューク大学や地元企業、教育機関と連携し、地域全体で姉妹都市交流を支援する基盤を整えています。

2024年10月11日には、協会設立35周年を祝う記念祝賀会が開催され、約100人のゲストが参加しました。

レオナルド・ウィリアムス市長や協会の理事、在アトランタ日本総領事館の前田未央総領事ご夫妻、当事務所の松井所長などが参加し、ネットワーキングが行われました。

この席で市長は、「文化は人と人をつなぎ、国境を越えて互いを理解し合うために重要な役割を果たすものであり、姉妹都市交流のさまざまなプログラムはまさにこの『人と人との交流』を支援するものだ」と



記念祝賀会の様子



在アトランタ日本総領事館 前田未央総領事ご夫妻（前列）、ダーラム姉妹都市協会富山委員会委員長クリス・ポイヤーさん（中列右端）と委員会メンバー ※中列左端の2人はクレアニューヨーク事務所スタッフ

述べました。また、政府間の関係が難航する場合でも、市民同士の交流がその関係の修復や強化に貢献することができるとして、プログラムの意義が強調され、この発言を受けて、参加者の間には改めて意欲が高まる様子がうかがえました。

TRIANGLE TAIKO の取り組みと地域への影響

ノースカロライナ州トライアングル地域で太鼓を使って活動する TRIANGLE TAIKO は、日本文化の普及に大きな役割を果たしています。設立者の岩島ロッキー・好子ご夫妻は、「アメリカで日本文化に触れる機会が少ない」と感じ、22年前にこのグループを立ち上げました。初期のメンバーは7～8人で、資金が限られていたため、トラッシュ缶にテープを貼った手作りの太鼓を使い、メンバーの自宅ガレージで練習を開始したというエピソードは、彼らの熱意を物語っています。

TRIANGLE TAIKO は「太鼓を通して日本文化を広めたい」という岩島さんの強い思いのもと、数多くのアメリカ人メンバーが参加していることも特徴です。グループは地域の学校やイベントで年間40回以上の公演を行っており、現地の人々にとって日本文化を直接体験できる貴重な機会を提供しています。

メンバーの一人である balan・アームストロングさんは、大学で日本語を学び、日本文化イベントを通じて太鼓と出会い、グループに参加しました。現在は太鼓の先生・リーダーとして活動しており、「メンバーと家族のような関係を築けていることが、グループが長く続いている秘訣だ」と教えてくれました。

また、岩手県で JET プログラムに参加した経験を持つ別のメンバー、トゥレーズ・スティーブンさんは、日本で太鼓を始めたことがきっかけで、フィラデルフィア

に戻ってからノースカロライナ州に移住した後も「日本とつながりを感じたい」という思いをもって太鼓を



太鼓の練習に励む TRIANGLE TAIKO のメンバー

TRIANGLE KENDO & IAIDO の取り組みと地域への影響

一方、剣道もまた、日本文化普及に貢献しています。TRIANGLE KENDO & IAIDO で指導するマイク・ワトソンさんは、26年前に娘の影響で剣道を始め、以来、剣道の哲学に魅了されました。現在は指導者として地域で活躍し、剣道の精神を広めています。彼は、アメリカの商業的な武道教室では、短期間でランクを上げることが重視する一方で、剣道はその対極にあると語ります。剣道の目的は他人に勝つことではなく、昨日の自分を超越することであり、日々の練習を通じて心を磨き、精神を鍛えるもので、人生のあらゆることにおいて全力で取り組む精神を学ぶことができると話してくれました。また彼の話によると、アメリカにおける剣道の人気は徐々に高まっており、各地で定期的に大会や昇段試験が開催されているそうで、最近では1つの大会で200人ほどが参加する規模に成長しているとのこと。

ワトソンさんは、剣道を通じてアメリカで日本文化を広めることが重要だと考えており、今後も地域社会との結びつきを強めていくことを目標にしています。剣道はただのスポーツではなく、礼儀や尊敬の念を学ぶ場であり、特に若い世代にとっても有意義な学びの場だと感じており、剣道を通じて地域社会に貢献し、アメリカの若者たちに日本文化の深さを理解してもらおうことが、自身の使命だと語ってくれました。



マイク・ワトソンさんと固い握手を交わすクアニューヨーク事務所 松井所長(当時)



指導に熱が入るマイク・ワトソンさん

「異文化の懸け橋に」 天満友紀さんが広げる日本文化の輪

天満さんは20年以上前にダーラム市に移住しました。日本を離れて生活する中で、異文化理解の重要性和日本文化の価値を深く感じ、現地で日本文化を広めることを決意、新しい文化に適応しながら日本の伝統や価値観を次世代に伝えることが自分の使命だと考え、日本とアメリカの懸け橋としての活動を始めました。

天満さんはダーラム姉妹都市協会富山市委員会のメンバーでもあり、同会の協力も得ながら地域の学校やコミュニティセンターで日本文化のワークショップを行っています。日本食の試食や折り紙体験などを通じて、現地の人々に日本の伝統文化に触れる機会を提供し、また、地域のフェスティバルやイベントでも文化紹介を行う中で、地元の人々が気軽に日本文化を楽しめる場を作っています。これらの活動は地域の人たちの異文化理解を深めるきっかけにもなっています。

一方で、日本文化を紹介する活動にはさまざまな課題もあります。天満さんは、人種や文化の違いから誤解や偏見に直面することがあり、少数派として日本文化を広める難しさを感じることもあると言います。また、自分の子どもたちがアメリカで日本人としてのアイデンティティをどう保つかについても悩むことがあるそうです。「アメリカで育つ日本人の子どもたちが、自分の文化に誇りを持ちながら成長してほしい」と願う彼女は、アイデンティティの問題に向き合うことも活動の大きな目的としています。



ダーラム姉妹都市協会設立35周年記念祝賀会の会場で参加者へ料理を振る舞う天満友紀さん（右）と娘の利沙さん（左）

現在、天満さんは大学で観光関連ビジネスを専攻中で、この知識を生かして「日本文化に根ざしたレストランやアート展示スペースを開きたい」という新たな目標を持っています。これらの施設を通じて、日本の食文化やアートの魅力を伝え、地元の人々が日常的に日本文化を楽しめる場を提供したいと考えています。

また、この場を日本にルーツを持つ子どもたちが自分の文化に誇りを持ち、地域の人々が自然に日本文化に親しめるような空間にしたいという思いもあります。彼女は、この構想が実現すれば、地域にとっても貴重な日本文化の触れ合いの場となり、多くの人々が日本文化を理解し、共感するきっかけになると信じ、活動を続けています。



ダーラム市レオナード・ウィリアム市長（中央右）と在アトランタ日本総領事館 前田未央総領事ご夫妻（両端）、天満友紀さん（中央左）

姉妹都市交流、日本文化普及活動の 未来とその可能性

今回、アメリカ南東部にあるノースカロライナ州トライアングル地域で、姉妹都市交流や文化普及活動について、さまざまな組織や個人に取材を行いました。日本人や日本文化が比較的浸透しているカリフォルニア州やニューヨーク州などとは異なり、この地域では日本文化に直接触れる機会が少なく、このような活動の意義をより感じられる場面が多く見られました。

特に、日本人が少ない地域では、姉妹都市協会や文化普及団体、天満さんのような方々の地道な活動のおかげで、日本文化に触れる窓口が生まれ、異文化への関心と理解が深まっており、これはサブナショナルレベルでの手本となる優良な事例の1つだと考えます。

今後もこれらの活動が続くことによって、日米の文化交流がさらに広がり、地域全体が異なる価値観を尊重し合い、互いに学び合う場が増えていくことを期待します。



ダーラム市と姉妹都市を締結している都市の名称、方角、距離を示した表示板（ダーラムセントラルパーク設置）